

Ⅶ 施設案内

- 1 附属図書館
- 2 総合博物館
- 3 情報環境機構
- 4 京都大学以外の施設利用案内

1 附属図書館—学習活動を支える知的空間／創造の広場—

学内には、附属図書館をはじめ、宇治分館と50数カ所に学部や学科図書館・室があります。皆さんの学習や勉学を支えるための施設ですので、大いに活用して下さい。

[豊富な資料群]

- ・創立より100年以上にわたる歴史から、蔵書数は全学で約652万冊を数えています。その中には、国宝や重要文化財があり、質量ともにわが国有数の図書館です。
- ・学習図書、教養図書のほか、研究資料、視聴覚資料、マイクロフィルム、インターネットによる情報の収集が自由にできます。
- ・専門的な資料は、学部や学科図書館・室にあります。

[図書館の利用]

・附属図書館と学部や学科図書館・室の利用や図書の貸出には、学生証が必要です。ようにして下さい。

- ・附属図書館の開館時間

	平日	土日祝
開館時間	8:00～22:00	10:00～19:00

休館日 年末年始（12/29～1/3）、図書整理等による休館日 4/1～2、毎月末日（7～8月、1～2月を除く）等。詳細はホームページや、図書館で配布しているLSN (Library Service News) 等の日程表でご確認ください。

※附属図書館や学部や学科図書館・室のホームページへは、「図書館機構Webサイト」(P75参照)の「図書館・室一覧」からご覧いただけます。また、同サイトの「開館日程」で附属図書館や各学部・学科図書館・室の開館情報が確認できます。



附属図書館全景



1階メインカウンター



2階開架閲覧室



3階共同研究室



3階情報端末エリア



1階学習室24

[附属図書館の資料配置]

- ・1階 雑誌, 新聞, 参考図書
- ・2階 開架図書
- ・3階 視聴覚資料
- ・地階 書庫内図書, 雑誌 (バックナンバー)

[附属図書館の設備]

- ・電子図書館, オンライン目録, 電子ジャーナルを利用したい。→1階「サイバースペース」へどうぞ
- ・文献や調査の相談をしたい。→1階 参考調査カウンターへどうぞ
- ・インターネットを利用したい。→3階「情報端末エリア」へどうぞ
- ・自分のパソコンでインターネットを利用したい。→3階「閲覧スペース」へどうぞ
- ・CD, DVDを視聴したい。→3階「メディア・commons」へどうぞ
- ・グループで学習したい。→3階「共同研究室」へどうぞ
- ・朝まで学習したい。→1階「学習室24」へどうぞ

[図書館の活用]

- ・新入生, 留学生のためのオリエンテーションへの参加
- ・図書の予約/他大学の資料の取り寄せ
- ・データベース利用方法等の各種講習会への参加
- ・全学共通科目「情報探索入門」による情報リテラシーの習得

図書館機構Webサイト

<http://www.kulib.kyoto-u.ac.jp/>

学術情報リポジトリWebサイト

<http://repository.kulib.kyoto-u.ac.jp/>



電子図書館Webサイト

<http://edb.kulib.kyoto-u.ac.jp/>

『貴重資料画像』
『博士学位論文データベース』
『学内研究成果』などがあります。



電子ジャーナル

提供タイトル数: 約60,000 (オープン・アクセスを含む)
学術雑誌をそのまま電子化し, パソコンの画面上で読めるようにしたものです。研究者は図書館まで足を運ばなくても自分の研究室から24時間雑誌論文を読むことができます。

2 総合博物館

モノと展示で研究を支え・伝える総合博物館

総合博物館は、貴重な収蔵コレクション（モノ）の維持管理と研究への利活用の推進、そして京都大学の研究・教育成果の社会への発信という2つの重要なミッションを果たしています。

モノの研究が出来る総合博物館

京都大学開学以来100年以上に渡り収集された、260万点にも及ぶ学術標本資料を管理しています。文系では、国宝・重要文化財やそれに準ずる資料、また、理系では生物・化石の新種の第一標本（タイプ標本）など国際的にも貴重な学術標本資料コレクションです。21世紀の今日、科学の発展にともなって分析手法や解析手法の進歩はめざましいものがあります。京都大学総合博物館に収蔵される学術標本資料は、これらの手法の切れ味を試すのにふさわしい優れた素材です。利用しやすい形で収蔵されていて、学内外の研究者が頻繁に活用しています。卒業論文や修士・博士論文のための研究にも利用することができます。

研究成果を公開する総合博物館

文化史・自然史・技術史と広い分野にまたがる常設展示（*）、最新の研究成果を公開する企画展示・公開講座、頻繁に開かれる学習教室・体験教室など、京都大学における学術活動の成果を公開する役割も担っています。これらの展示や催しを通じて諸先輩の優れた研究に触れることにより、知的刺激を受けたり研究のヒントを得ることができるかもしれません。

*文化史系展示：古文書・古記録といった歴史資料、京都市内の古地図、様々な様式の石棺、発掘調査や海外学術交流によってもたらされた土器や石器、金属製品などを展示しています。

*自然史系展示：ナウマン象のタイプ標本などの化石、芦生研究林や霊長類研究所での研究成果を中心に温帯林の生態系やチンパンジーの生態、またマレーシアとの共同研究の成果などを展示しています。

*技術史系展示：三高時代や創設期の京都大学で使われた機械メカニズム模型などを展示しています。



文化史系展示



自然史系展示



技術史系展示

総合博物館の利用について

- ・ 開館時間 9:30～16:30（入館は16:00まで）
- ・ 休館日 月曜・火曜（平日・祝日にかかわらず）及び年末年始（12月28日～1月4日）
- ・ 入館料 本学の学生は無料（学生証の提示が必要）

総合博物館の詳細情報はホームページで発信しています。

<http://www.museum.kyoto-u.ac.jp/>

3 情報環境機構

情報環境機構は教育・研究など本学のさまざまな活動を支える高い安全性と利便性を備えた先端的情報環境の構築・運営を目的として、研究開発を担う学術情報メディアセンターと種々の情報サービスを提供する情報環境部という構成で活動しています。本機構では学内外を高速のネットワークで結ぶ学術情報ネットワークサービス (KUINS)、全国共同利用のスーパーコンピューティングサービスを提供する大型計算機システムや、本学での教育を支援する教育用コンピュータシステム、語学学習システム、遠隔講義支援サービス、コンテンツ作成支援サービスなど多様な情報サービスを統一的に提供しています。

(1) 全学生向けアカウント (ECS-ID)

情報環境機構では、京都大学の情報サービスを利用する際に必要な全学生向けアカウント (以下、ECS-ID) を提供しています。通常、入学あるいは転入時にECS-IDが記載された封筒をお渡ししますので、大切に保管してください。ECS-IDは在学期間中有効で、転部や大学院への進学に際しても同じECS-IDと電子メールアドレスを継続して利用頂けます。

封筒を受け取られていない方あるいはECS-IDに関してお困りの事があれば、学術情報メディアセンター南館あるいは北館の窓口へお越しください。

ECS-IDは、情報環境機構や図書館機構等が提供するオープンスペースラボラトリ (OSL) のパーソナルコンピュータ、全学生共通ポータル、各種e-Learning、学外から学内へのVPN接続、学内無線LAN、KULASIS、MyKULINE、電子ジャーナル、証明書自動発行機など多数の学内サービスに利用できます。情報環境機構が提供する各種情報サービスについては下記のURLを参照してください。

<http://www.iimc.kyoto-u.ac.jp/ja/services>

(2) 教育用コンピュータシステム

全学の学生・教員が利用できる教育用コンピュータシステムとしてパーソナルコンピュータ (PC) 約1300台を学術情報メディアセンター南館・北館と各学部のサテライト演習室に配置し、もっぱら授業での利用に供するとともに、一部を自学専用としてセンター南館1階・北館1階、附属図書館3階、人間・環境学研究科総合人間学部図書館2階などにオープンスペースラボラトリ (OSL) として配置しています。サテライト演習室は、それぞれの学部の講義・演習に利用されますが、授業等の占有利用時間外の運用は学部によって異なります。利用を希望する人は各学部を確認してください。教育用コンピュータシステムのすべてのPCは学内ネットワークで接続されており、利用者の認証、各自のファイルの保存、利用統計の収集などを行っています。これらのPCには各種ソフトウェアが導入されており、レポートの作成やプログラミングの学習、WWW (World Wide Web) による情報収集や電子メールによる情報交換が行えます。大学生活に活用してください。

なお、OSLのPCなどの教育用コンピュータシステムを利用する場合は、ECS-IDを取得後に講習会を受講する必要があります。講習会の日程は各学部とセンターの掲示板、Webサイト (<http://www.iimc.kyoto-u.ac.jp/ja/services/ecs/>) に掲示しますのでご注意ください。

この他、情報環境機構では、外国語会話の双方向での学習を支援する語学教育 (CALL:Computer Assisted Language Learning) システムを備えた教室や、OSLにおいては利用自身が所有のヘッドフォンを持ち込むことによりCALL教材の自習ができます。また、各学部設置された遠隔講義システムにより学部間や他大学と遠隔講義の支援も行っています。

(3) 学生メール

ECS-ID を取得された学生等は、京都大学が提供するメールサービスを利用できます。このサービスでは、Microsoft社に委託し、Live@eduというメールサービスを使っています。学生メールを利用するためには (<http://mail.st.kyoto-u.ac.jp/>) にアクセスしてください。携帯電話やスマートフォンからもアクセスできますが、携帯電話に転送するとさらに便利です。大学からの連絡事項などをこのメールアドレスに配信することがありますので、一日一回はログインしてメールを見るようにしましょう。

(4) オープンスペースラボラトリ (OSL) の運用

学術情報メディアセンター南館のOSLにはPC126台を設置しています。OSLの利用にあたっては利用規程、利用心得の遵守をお願いしています。OSLでは利用者の補助のためにティーチングアシスタント (TA) として大学院生が駐在しています。利用にあたって不明な点などはTAに相談して解決してください。なお、各種ソフトウェアの利用方法については、市販の書籍などを参照してください。

開館時間

- ・センター南館OSL : 月曜日～金曜日 (ただし、国民の祝日等は休館) 午前10時～午後8時
土曜日 (ただし、国民の祝日等は休館) 午前10時～午後6時
- ・センター北館OSL : 月曜日～金曜日 (ただし、国民の祝日等は休館) 午前10時～午後5時
- ・附属図書館, 人環・総人図書館など : 各館の開館時間に従います。

OSLの運用については機構のWebサイト (URL <http://www.iimc.kyoto-u.ac.jp/ja/services/ecs/>) を参照してください。

(5) 賢い利用者になるために

OSLは利用規程に則り可能な限り広く利用して頂くことを考えていますが、ネットワークに接続されたPCの利用には注意を要する事項がいくつかあります。情報・ネットワーク社会の特性や求められるルールを学び、適切な利用を心がけてください。例えば情報の著作権の尊重、ネットワークや計算機への適正なアクセス、自分自身の情報を含めた個人情報の慎重な扱いとプライバシーの尊重、電子的なコミュニケーションで生じやすいトラブルの回避などです。これら、情報ネットワーク社会で求められるルールを学ぶために、e-Learningによる情報セキュリティに関する基本的な研修コースの受講が義務付けられています。ECS-IDを取得したら、PC端末からすぐに学習を始めましょう。

また、教育用コンピュータシステムではPCやファイルサーバ、プリンタなどは限られた資源を多くの利用者が共同で利用しています。他の利用者に配慮し、許された利用条件の範囲で有効に利用してください。設備やソフトウェアは貸借物品ですので大切に扱ってください。機器やソフトウェアについては保守や更新を行っていますが、必ずしも個人の希望に沿った新規導入などができるわけではないことにもご理解ください。



学術情報メディアセンター南館 (OSL) 建物



OSL風景

(6) スーパーコンピュータの利用について

学術情報メディアセンターは全国共同利用機関としての一面も担っています。大規模計算向けにスーパーコンピュータの利用サービス (有料) を行っており、このサービスを利用することで、PCなどの小規模な計算機では解くことのできない大容量の計算を高速に実行することができます。

4 回生の学部学生は卒業研究の目的で指導教員の監督の下にこのサービスを利用できます。また、4 回生以外でも、スーパーコンピュータを利用した全学共通科目を履修すると、履修期間中、自習のために本サービスを無料で利用することができます。

4 京都大学以外の施設利用案内

(1) 京都府立ゼミナールハウス

〒601-0533

京都市右京区京北下中町鳥谷2番地

電話 075-854-0216

※申し込み方法

来館及び電話で予約します。

(利用を希望する日の1年前から受付可)

※休館日

年末年始(12/28~1/4)

1月と2月の第3月曜日

※その他

食事料金 2,550円~(ただし3食,朝昼夕食消費税含む)

宿泊料金 1,500円~

宿泊定員 最大200名

研修室料金 洋室20人用1日4,000円~(洋室6室・和室10室有り)

FAX 0771-54-0316

ホームページ <http://kyosemi.or.jp/>

E-mail kyosemi@oak.ocn.ne.jp



(2) 独立行政法人国立青少年教育振興機構 国立淡路青少年交流の家

〒656-0543

兵庫県南あわじ市阿万塩屋町757-39

電話 0799-55-2695(事業推進係)

※申し込み方法

電話で空き状況をご確認の上,施設利用申請書を提出してください。(50名以上の団体は,早期予約が可能です)

詳細は,上記まで。

※休館日 年末年始(12/28~1/4)

※その他

食事料金 朝食410円,昼食530円,夕食660円
(バイキング方式)

シーツ等洗濯料金 200円

施設使用料金

一般利用 1人1泊 250円

※平成24年7月1日から800円

青少年利用 無料

宿泊定員 400名

FAX 0799-55-0463

ホームページ <http://awaji.niye.go.jp/>

(3) 独立行政法人国立青少年教育振興機構

国立若狭湾青少年自然の家

〒917-0198

福井県小浜市田島区大浜

電話 0770-54-3100

※お申し込み方法

電話で予約願います。詳細は、上記まで。

※休館日

年末年始(12/28~1/4)、施設等整備の日

※ご利用料金

①食事料金 1,600円(3食)

②施設使用料 無料

(ただし、一般利用のみ1人1泊250円)

※平成24年7月1日から800円

③シーツ等洗濯費用 200円

④その他研修活動によっては料金が発生
します。詳細はHPをご覧ください。

※その他

宿泊定員 300名

2名以上から利用できます。

日帰り利用も可能です。

FAX 0770-54-3023

ホームページ <http://wakasawan.niye.go.jp/>

E-mail wakasawan@niye.go.jp



プライベートビーチを持つ国立若狭湾
青少年自然の家で、波の音を聴きながら合
宿をしませんか？

当施設の体育館には床暖房が付いている
ので冬季合宿にも最適です。



(4) 独立行政法人国立青少年教育振興機構

国立曾爾青少年自然の家

〒633-1202

奈良県宇陀郡曾爾村太良路1170

電話 0745-96-2121(代)

※お申し込み方法

電話で予約願います。

詳細は、上記まで。

※休館日

年末年始(12/28~1/4)

施設・設備整備の日

※ご利用料金

①食事料金 1,600円(朝昼夕3食の場合)

②施設使用料 無料

(ただし、一般利用の場合1人1泊250円)

※平成24年7月1日から800円

③シーツ等洗濯料 1人200円

※その他

宿泊定員 400名

2名様よりご利用になれます。日帰り利用も可。

FAX 0745-96-2126

ホームページ <http://soni.niye.go.jp/>

E-mail soni@niye.go.jp



ススキの大草原曾爾 みんなで作るたくさんの思い出！
平成の名水100選、ホタル飛び交う清流、自然豊かな
曾爾高原でサークル合宿をしませんか？

体育施設・研修室などもあり、サークル合宿・
ゼミ合宿にはぴったりです。

近くには美人の湯で知られる温泉施設「お亀の
湯」もあります。(温泉まではお車で約5分)

